

子どもと共にいると、世界がひろくなる。子どもの遊びは、これからどうしなければならぬという道筋のついたものではない。そう考えるのは、大人の世界である。子どもには、遊ぶこと自体がおもしろい。遊んでいるうちに、次のことが生まれてくる。その遊ぶ子どもと共にいると、世界がひろくなる。

おにごっこをしている子どもがいる。おにごっこをしていると見るのは、大人の眼である。子どもの世界では、まず友だちと共にいるたのしさがある。追いかけられたり、息がぎれるまで走ったりするときの快さがある。その世界にいられてもらうと、子どもと共にいる瞬間は、何と広い空間だろうと思う。

自分が子どもだったころ、友だちと遊んでいることが、ただひたすらにおもしろくて、いつのまにか、あたりが暗くなりかけていることがあったことを思いお

こす。その夕闇の果ての方に、すでに現在の自分もあつたような気がする。

すぐ先のことを煩い、昨日のことに心が病んで小さくなるうとする大人の生活は、子どもにふれるときに、もっと広い世界に解き放たれる。子どもと共にいることを仕事とできる人は、しあわせだと思ふ。

子どもと一緒にの場所においても、子どもと共にいない時がある。次の段どりを考へたり、何かをしなければ専門家でないように思つてあせる時などである。

大人には、大人の生活があるが、子どもの仕事をする者には、子どもと共なる世界に身をゆだねる瞬間がある。それは何と大きな幸いであらうか。そのことに、教育も研究もないと思ふ。

(津守 真)

幼児の教育 第七十三巻 第五号

五月号 © 定価一七〇円

昭和四十九年四月二十五日印刷

昭和四十九年五月 一 日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
所 フレーベル館 館 にお願ひいたします